議 事 録

会議名	令和6年度第1回寒川町自殺対策計画推進協議会		
開催日時	令和6年7月30日(火) 午後2時～3時		
開催場所	本庁舎3階 議会第1、2会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	<p><協議会> 出席者：桑原委員、伊吹委員、佐藤委員、菅原委員、森井委員、小西委員、三留委員、大野委員、野田委員、野口委員、守村委員、稲葉委員、井上委員 代理出席：茅ヶ崎警察署 並木氏 欠席者：渡辺委員</p> <p><連絡会> 出席者：菊地町民部長、野呂子育て支援課技幹、新藤福祉課主幹、三橋高齢介護課長、原健康づくり課長、大平産業振興課長、奥谷教育政策課長、黄木学校教育課長 欠席者：中澤福祉課長、鳥海子育て支援課長 事務局：深澤副町長、菊地町民部長、尾畑町民窓口課長、三留町民窓口課副主幹 傍聴者：なし</p>		
議題	<p>(1) 令和5年度 寒川町自殺対策事業実施結果について</p> <p>(2) 第2次さむかわ自殺対策計画素案について</p> <p>(3) その他</p>		
決定事項	<p>・議事録承認委員は、輪番制。 今回は、桑原委員及び伊吹委員が務めることを確認。</p>		
公開又は 非公開の別	公開	非公開の場合 その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会 尾畑町民窓口課長</p> <p>2 委嘱状交付 深澤副町長</p> <p>3 あいさつ 深澤副町長</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 議事録承認委員の指名 承認委員は輪番制。今回の承認委員は、桑原委員及び伊吹委員が務め</p>		

ることに決定する。

6 議題

(1) 令和5年度 寒川町自殺対策事業実施結果について、事務局より説明。

【稲葉会長】 それでは、皆様から御質問、御意見をいただきたいと思えます。桑原先生、お願いいたします。

【桑原委員】 御説明ありがとうございました。今回は、コロナ禍にあって、計画通りに実施できたこと、できなかったこと、いろいろあったかと思えます。先ほどのお話でも、昨年の事業取組の結果について非常に好評を得て回数を増やしたこともあったとのこと報告がありましたけれども、経年的な取組にかかる変化について、何か気づいたことがありましたでしょうか。特に、コロナ禍に入ってから4年間を振り返ってみたときに変化のあった事業、できたこと、できなかったこと等について、補足説明をしていただけるとありがたいと思えます。

【稲葉会長】 ありがとうございます。今の御質問に対して、事務局お願いいたします。

【事務局】 コロナ禍におきましては、対面での事業が実施しにくかったのですが、コロナが5類になりましたときから対面での事業が実施できて、コロナ前と同様に令和5年度はできたと思えます。今後もこのような事業を続けて、自殺対策を推進してまいりたいと考えております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。桑原先生、よろしいでしょうか。

【桑原委員】 結構です。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

そうしましたら、野口委員に、労働環境的な要素で最近、現状というか、そういったところで何か特徴的なところがありましたら、教えていただければと思えますが。

【野口委員】 5類に移行してから、藤沢労働基準監督署は、鎌倉市と藤沢市と茅ヶ崎市と寒川町を管轄しているのですが、特に5類移行後は、鎌倉、藤沢の観光地の旅行客数がすごく増えたりして、宿泊業とか飲食業を中心に人手不足です。それが自殺にどう影響するかはちょっと分かりませんが、全国的に見て人手不足が強まっていますし、特に観光業、飲食業ではより人手不足が強まっています。この状況がいつまで続くか分かりませんが、そういう中でかなり無理して働いていらっしゃる方もいらっしゃる可能性もあります。

それから、最近としては、ハラスメント、従来のパワハラ・セクハラに加えて、カスハラというものが注目されております。そういったハラスメント的な要素と、あと人手不足の要素、これらが二重に労働者の方にとって押し寄せたときに、すぐ相談ができるような場所とか、正しい情報を得られるサイトとか、そういった環境整備が今後、より必要になってくると思います。

【稲葉会長】 どうもありがとうございます。

それと、菅原委員、生活保護の関係で、コロナ後、何か特徴的な御経験というのがありますか。

【菅原委員】 コロナ禍では、生活保護の中でも、人と人の距離というところを念頭に、直接的な訪問を見合わせる考え方など、本来、人と人の生活を直視する場面がすごく生活保護では大事なのですが、コロナの影響でその距離感が開くような考え方というのが、感染防止の観点であったりしました。昨年度以降5類に移行して、本来の形に戻るようになってはいますが、コロナ禍の影響からか会うことに抵抗感があるなど、以前に比べて訪問とかで直接会うということに関して距離感を持たれる方がちょっと増えたというのが昨年度、幾つかのケースで感じたことがあります。

ただ、そういう距離感も非常に大事なところがあるので、引き続き我々のほうから働きかけつつ、今年度あたりからは従来の形に戻りつつあるという印象というものも持っています。

【稲葉会長】 どうもありがとうございます。

今、収入ですとか、そういう経済面での影響というところで委員の皆様からお話をいただきました。その他、高齢者とか子育てのところでは何かコロナ後の特徴等、御発言はございますでしょうか。

【佐藤委員】 高齢の分野ですと、もろもろ、寄り合いが始まったりとか、我々も訪問介護を開始したりとかというところでスタートしているところではございますけれども、コロナの関係ですと、うちに籠もっているというところで、なかなか話ができなかったりとか、御家族の方からちょっと暴力があったりなどという話もちらりほらり聞いているというところもありまして、ではそれが今、大噴出しているかといったら、別にそういう状況でもないですけれども、中に籠もっている期間が長かったというところもあって、そういったものが内在化して行って今、少しずつ明らかになってきているのかなというところございます。

【小西委員】 よろしいですか。

【稲葉会長】 はい。小西委員、お願いします。

【小西委員】 高齢者に関してなんですけれども、今、顕著に問題だなと思うのが、老老介護。一方の方がかなり病弱であったり、寝たきりであったりしている。そういう介護をなさっている方たちのほうが疲労してきているということ。そこにはどうしても助け船が欲しい部分もあるので、精神的にそういうことで追い込まれるという形になると思います。

あと、老老介護のほかにも、実際、私の対象地域でも、ちょっと認知症の方が何人か見受けられるようになったということと、独りで認知症がどんどん進むにつれて、御家族の方といろいろ御相談するのですけれども、ちょっと不安な部分があると思います。独居で認知症が進む。御家族の方が、そういう施設、デイサービスに行ったりとか、できるだけ独りでいる時間を少なくして、誰かと必ず1日1回は会話を交わすとか、そのような形を取ってくださっていますけれども、でも徘徊したり、夜遅く出かけて、自分のうちが分からなくなる、そして警察のお世話になるということも実際にあります。そういうところの受皿とか、あと、今、大野先生がいらっしゃるのでお聞きしたいんですけれども、子供たちはどうしても、こういう長い夏休みとか春休みとか、休み明けに登校するのが嫌になったりとか、そういう傾向にあるじゃないですか。それも含めてなんですけれども、いじめ問題とか、例えばスクールカウンセラーみたいな形で定期的にいらっしゃっていますよね。そういうスクールカウンセラーのしている相談件数といたら変ですけれども、寒川中学校なりにそういうことで実際にそういう相談に応じてよかったのかどうか、実践的に伺いたいんですけれども、よろしいですか。

【大野委員】 では、本校の状況ということだけお伝えさせていただきますが、本校もスクールカウンセラーは週1回御勤務いただいています。毎週という形では勤務体系上ない場合もありますが、基本的には予約はほぼ週1のところは埋まっております。その場合は保護者のみあるいは子供さんというところで、本人から、もしくは御家族から、また担任からというところをつないでおります。自殺のことに直結している悩みではないにせよ、学習面、友達の関係、また集団生活になかなかなじめないというところの相談をベースに今スクールカウンセラーとつないで、本校でもかなり学年ごとに平均しても7～8人ずつぐらいの範囲で、毎週ではないですけれども、定期的という形をつないでおります。町のほうで、先ほど御報告の中にありましたけれども、心理士さんが火曜日に勤務しておりますので、学校としてはそういった御相談先も御紹介しながら、ま

た相談指導教室等へもお子さんの状況を見ながらつないでということ、今、しているところです。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

関連いたしまして、茅ヶ崎警察署の並木様、認知症の関係ですか、虐待等で最近の状況というのはいかがでございましょうか。

【並木氏（渡辺委員代理）】 まず、先ほどお話のありました高齢者の保護とかの関係ですけれども、1週間の間に大体保護の案件というと、10件から15件ぐらいの間でそのように保護している方がいます。そのうち割合として多いのは、泥酔しているとか、そういったものではなく、認知症高齢者の徘徊ということで保護するところとかが結構多いです。ただ、一応、何度も何度も保護の対象として挙がる御家庭とかの場合は、茅ヶ崎市にお住まいの方であれば茅ヶ崎市の高齢介護課、寒川町にお住まいの方であれば寒川町の高齢介護のほうに御連絡させていただいて、連絡を取っていただいて、ちょっと介護支援とかの関係を進めていただければいいのかなというところでお話をさせていただいています。

それに伴って、保護とはまた別に、今度は児童虐待とか高齢者虐待とかもあるんですけれども、今、児童虐待というと、結局、夫婦げんかとかで同じ家庭内に住まわれているお子さんとかがいると、ふだんから夫婦げんかが頻繁にあったりとかすると、お子さんを療育する環境としてよろしくないというところで、心理的虐待のおそれというところで捉えて、虐待の通告をさせていただいております。コロナ前後という話も先ほど上がっていましたがけれども、私も一応、茅ヶ崎警察署の管内として茅ヶ崎、寒川というものを管轄していますけれども、非常に取扱いは多いです。虐待の関係もそうですし、当然DVとか、男女間のトラブルとかというものも多いですけれども、虐待とかの案件も非常に多くて、県内でもトップ10とかトップ5に入るぐらいの件数が毎年上がっております。コロナ前後に関しては、そこまで件数は変わりないですけれども、コロナになって自宅にいるということが多くなって、自宅内でささいなことからトラブルになるということが結構ありましたので、そういうものは虐待扱いをして、通告ないし通報させていただいているというところが実情であります。そんなところです。

【稲葉会長】 どうもありがとうございます。

その他、御質問、御意見等ございますでしょうか。よろしいですか。では、次の議題に移らせていただきます。引き続きまして、(2)第2次さむかわ自殺対策計画（素案）について、事務局より御説明をお願いいたします。

【事務局】 第2次さむかわ自殺対策計画（素案）について、事務局より説明

【稲葉会長】 説明は終わりました。

第2次さむかわ自殺対策計画（素案）について、委員の皆様からの御意見、御質問をお願いいたします。

【小西委員】 20ページの新規の事業の中のアンケートの実施ですけれども、こちらは継続していただけるし、表記することはいいことだと思います。でも、前回私が言いましたように、アンケートを実施する対象者の人数ですが、これはぜひもう少し広げていただきたいと思います。その年齢を問わず、平均的に高齢者から、お子さんから。というのは、それぞれ立場が違うので、そこから見えてくる環境とか、そういうのもあると思いますけれども、その回答の仕方が異なるということですが、前回400のうち250とか260の回答でしたよね。そうすると、本当に寒川町4万人の人口の中の200名というのは本当に微々たるものになるので、大変だとは思いますが、可能ならば、もう少しそれを広げてほしいということと、そのアンケートの内容も、そのニーズに応じたものにぜひ考えて、よりよいものをそのアンケートとして集計できれば、これからの施策につながると思うので、ぜひその辺はお願いしたいと思います。それから、24ページですけれども、この下のほうに「遺された人への支援」とございます。こちらは、遺された人たち、遺族の人たちというのは、特に自殺などで家族を亡くされたという方たちは、本当にちょっと立ち直れない状態が続くということもあるので、その直後に「大丈夫ですか。大丈夫ですか」というのは、それは逆効果になるし、逆なですることになるとは思いますが、時が過ぎていきまして、この相談もよろしいし、もちろん相談は当たり前のことなんですけれども、一歩進んで、こういう人たちがお互いに励まされるような会などが持てれば、また少し違うのか、同じような境遇の中で「こういうことはうちもそうだったんだよ」みたいなものができれば何かいいのかなということと、よりどころを見いだせるというのが一番の目的なんですけれども、そちらも考えていってあげたら、比率的には少ないかもしれませんが、自殺をした人の家族というのは、私も何件か存じ上げておりますけれども、本当になかなか立ち直れないんです。そこでさらに、遺された人たちを支える部分というのは本当に重要だと思うので、よろしくをお願いいたします。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

【事務局】 まず最初のアンケートについてなんですが、こちらは、今行っているのは町のeモニター制度によるアンケートでございまして、

今回、令和5年8月9日時点で登録者が485名で、回答者が268名ということで、確かにそんなに多くないという現状もあるかと思えます。それで現在、アンケートも、このアンケートはこのアンケートでさせていただくのですけれども、例えば、今ゲートキーパーの養成研修などをやっていますけれども、その際に例えば、これまで民生委員・児童委員さんとか、ケアマネジャーさんとか、いろいろな方にやっていますけれども、ここ最近、そういう方への研修ができておりませんので、これからちょっとその辺り、かなり昔にやったということで、最近できていない。例えばそういうときにゲートキーパーの養成研修をしたときに、そのときのゲートキーパーの研修がどうだったかというもお聞きするのですけれども、そういうときに自殺について、効果的な政策についての自由意見をもらうとか、そういう形でいろいろな団体さんにそういうゲートキーパーの研修をしたときに意見をもらうとか、ほかにも、今おっしゃられたように、様々な方からアンケートを取って、実情を把握するとか、意見を頂戴するというのは非常に重要であると思えますので、今後いろいろなアンケートを考えて実施していきたいと考えております。

それから、遺族支援についてなんですけれども、おっしゃられるように、確かに自殺された方がおられる家族というのは、精神的に非常に大変な状況でありますので、どういった支援がいいのかというのをよく考えながら、その辺をよく見極めてやっていきたいと考えております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

小西委員、よろしいでしょうか。

【小西委員】 はい。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

その他、御質問、御意見を頂戴いたします。守村委員、お願いします。

【守村委員】 まず、この素案を見て、ちょっと記載ぶりで気になったところが幾つかあったんです。13ページの一番上の棒グラフで、高齢者の年代別同居人の有無のところですけども、70歳代は棒グラフが2本並んでいますけれども、隣の60歳代、80歳代が描かれていないなというところと、それとあと、最後の資料のアンケートの部分ですけども、問2の下段の2、「悩みを抱えた」の後、文字が空いています。記載ぶりについては以上ですけども、御質問したいのが、15ページの自殺の特徴のところ、自殺者数が1桁でごく少ないので、4位の女性40～59歳のところの自殺死亡

率がとても高いというのは、189.1で、4位ではあるものの、自殺死亡率から見ると断トツでトップだと思います。なので、これはこの全体の女性の方が人口の比率としてはすごく低いけれども、1人でも亡くなってしまうと、それだけ自殺死亡率が上がってしまうという理解でよろしいかどうか、そういうことをお聞きしたいと思います。

【事務局】 ありがとうございます。まず13ページのグラフですけれども、同じ60歳代と80歳以上はゼロでございますので、ここに「なし」というように、分かるように表記をしたいと思います。ありがとうございました。

あとアンケートのほうも、スペースが空いてしまっていましたので、そちらのほうは修正をさせていただきます。

15ページの4位の女性40～59歳の自殺死亡率が189.1ということで、これは10万人に対しての自殺者数ということで、この年代の人口というか、2人ですけれども、10万人に対しての何人かということで189.1という数字が出てしまうということですが、人口割合ということでそうなると思いますけれども。

【稲葉会長】 これはおかしくないですか。寒川町の自殺の特徴になるので、10万人という数字が出てしまうと、寒川町に特化した数字を出すべきだと思います。

【事務局】 そうですね。

【稲葉会長】 その10万人の基準というのは、どこから。

【事務局】 10万人の基準というのは、自殺死亡率を出すときに、10万人に対して何人かというのを出すものですが。

【稲葉会長】 それだったら、要らなかったんでしょう、10万人は。

【事務局】 10万人、そうですね。

【事務局】 では、すみません、補足させていただきます。確かにここは寒川町の自殺の特徴ということで書かせていただいていますので、ここはどうしてかという分析とか、その辺りがないので、数字とかが出ているだけで、分かりにくい部分ですので、この辺はどういうこととか、その辺を次回は分析というか、その理由はこうだということを入れさせていただきたいと思います。現段階では、申し訳ないのですが、なぜかとかというのが分かりにくいと思いますので、申し訳ありませんが、ここの部分は直させていただければと思います。

【稲葉会長】 では、また次回に直したものをらせていただくということでお願いいたします。

この素案の今後の進行、進捗というか、進みはどのように段取

りになりますか。

【事務局】 こちらの素案につきましては、今日の協議会が終わりましたら、修正等を行いまして、第2回の協議会におきまして、素案の作成をお願いしたいと考えております。その後、パブコメ等がございまして、2月に原案について確定をお願いしたいと考えております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。では、また直したものを次回に見せていただくということでお願いしたいと思います。

その他、委員の皆様、御質問、御意見等、いかがでございましょうか。

【守村委員】 一つ、いいですか。

【稲葉会長】 はい。どうぞお願いします。

【守村委員】 資料のアンケートのところで、問2の4ですかね。「今までに、深刻に生きづらさを感じたことがありますか」という問いについて、「あった」という言い方が45.1%いらっしゃっているということですけども、「あった」ということは、この人たちも実際に自殺にまで結びつくかどうかは別として、何か悩みを抱えている方ではないかなと思ましたので、今後またアンケートを取られるのであれば、こちらのほうで相談先とかを同封したりとかして、独りで悩みを抱えるのではなくて、相談につながるように、何かアンケートを使ってそのようにできたらよろしいんじゃないかなと思うのが要望です。

以上です。

【稲葉会長】 いかがですか。

【事務局】 ありがとうございます。いただいた御要望を反映させていただきたいと思ます。ありがとうございました。

それと、すみません。先ほどの素案につきまして、協議会委員の皆様から、何かお気づきの点がこの後ございましたら、次回の会議までに書いていただく用紙をお送りさせていただきますので、それに記入していただいて提出していただければと思ますので、よろしく願いいたします。

【稲葉会長】 承知しました。また御記入いただく用紙が届くということですので、お気づきの点がございましたら、そちらのほうに記入をお願いできたらということでございます。どうぞよろしく願いいたします。では、お願いします。

【桑原委員】 事前に送っていただいた素案を拝見いたしましたが、この間の取組の状況、それから国の施策の変化、動向、全国の自殺対策の状況の変化を踏まえ素案を作られたということで、非常によくできた素案になっていると思ます。特に5ページ目のさむかわ自殺

対策計画の達成状況をちゃんと入れていただいている点などが大変よかったですと思います。

それと、アンケートについてですが、前回の委員会でも意見を言わせていただきましたが、早速施策のほうにも反映させていただいているということは大変うれしい限りです。ただ、この点にかかる確認なのですが、前回のアンケートの結果を御紹介いただいたときに、事務局としてのまとめがありましたよね。

【事務局】 はい、ございました。

【桑原委員】 今回の計画文案の中には、あのまとめを入れていただいほうがいいのではないかという気が一つすると、前回のアンケートと今回実施したアンケートとを比較して見ますと、回答件数も増えているし、前回は、何で、今、こんな自殺に関する質問を突然するのかとか、そういった意見もありました。しかし、今回のアンケート調査では、そういった意見はなくなり、かなり具体的な取組にかかる提案がみられるようになった点が大きな変化だと思いました。このことを踏まえて、今後の町民の方々のご意見の収集については、e モニターの実施はもちろんですが、これに加えて、先ほど事務局のほうからもお話があったような、いろいろゲートキーパー養成研修等を実施したときに、受講の感想・研修成果にかかる意見なども含めた企画を追加するなどして、計画素案の記載内容を膨らませていただけるとありがたいと思います。いずれにしても、今回の素案には、今年度実施したアンケートも結果だけではなく、結果にかかる考察とか、今後の対処計画案なども含めて記載していただけると、よりよいものができるのではないかなと思いました。

あと、時間の関係で、幾つか記載の関係でチェックしていただいたほうが良いところがあるのですが、それはまた、先ほど話題になったように、後日メールとか、そういったところで、ここのチェックをお願いしますという形で送るということで、よろしいでしょうかね。以上です。

【稲葉会長】 ありがとうございます。事務局、よろしいでしょうか。

【事務局】 はい。ありがとうございます。

あのアンケートにつきましては、いろいろな意見とかが入っておりますので、それをよく考察して、今後の施策に生かせるようにしていきたいと思っております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。

議題の2について、その他、よろしいですか。この辺りでよろしいでしょうか。

	<p>何かありましたら、また事務局のほうに送るということでお願いできたらと思います。</p> <p>それでは、続きまして議題の（3）その他に移ります。</p> <p>まず、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、ないようでしたら、事務局から、よろしく願いいたします。</p> <p>【事務局】 委員の皆様、御審議ありがとうございました。</p> <p>1点、御連絡させていただきます。次回の会議の開催時期でございますが、9月下旬頃を予定しております。また、皆様に日程調整をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p> <p>【稲葉会長】 ありがとうございます。</p> <p>それでは、これで本日の日程を終了とさせていただきたいと思っておりますが、雨が降ってまいりました。とても変なタイミングでの終了となってしまいました。進行を事務局にお返ししたいと思います。お願いします。</p> <p>【事務局】 そうですね。雨が降ってきてしまいました。稲葉会長、議事進行、お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき、貴重な御意見を頂戴し、感謝申し上げます。今後も本町の自殺対策計画の推進に御協力をお願いいたしまして、閉会の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>配付資料</p>	<p>会議次第</p> <p>寒川町自殺対策推進協議会委員名簿</p> <p>寒川町自殺対策庁内連絡会委員名簿</p> <p>資料1 令和5年度寒川町自殺対策事業実施結果</p> <p>資料2 第2次寒川町自殺対策計画策定スケジュール</p> <p>資料3 第2次寒川町自殺対策計画（素案）</p>
<p>議事録承認 委員及び 議事録確定 年月日</p>	<p>・桑原委員 ・伊吹委員</p> <p style="text-align: right;">（令和6年10月11日確定）</p>